



木童通信 vol.19

平成21年2月発行

木童 東京ショールーム
 open 月～金 10:00-18:00 ± 11:00-17:00
 close 日・祝 (事前予約いただければ日祝の見学も可能です)
 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティ1F
 TEL:03-5358-5125 FAX:03-5358-5126
 URL:http://www.kodoh.co.jp E-mail:Tokyo@kodoh.co.jp

★日本の伝統の技を絶やすな ～揚げ(曳)屋で改修すること+200年住宅を考える～

築150年(江戸時代末期～明治初期)の民家を曳家で改修するという現場に立ち会うことができました。



用語解説：曳屋・揚屋
 家を基礎から持ち上げて、別の場所に移設をする為の方法。移設していない今回のような場合は**揚屋**とも言う。

揚屋は今でこそ珍しくなりましたが、日本では伝統的に行われてきた住宅の改修方法です。木造軸組の家の場合、部位によって耐用年数が違います。現代の家は基礎のコンクリートは約60年、土台は適した乾燥材を使用していない場合、数年～数十年保つのか判りません。悪くなったところだけを取り替えることで、大事な家を守り、住み継ぐのです。

揚屋の手順

- ジャッキを充て、徐々に持ち上げる。
- 10～20cmくらい持ち上がった後、間に枕木のような角材を井桁に組み、台として安定させる。
- 同じ作業を少しずつ繰り返しながら持ち上げてゆき、作業スペースを確保する。
- 東石に載っていた元々の束を切り落とす。
- 間取り等が変更になった家に合せて新しく基礎を造る。
- ※右の写真は束の部分を合わせて1mくらい持ち上げ、基礎の背筋をし、コンクリートを打った後の状態です。
- 一部の土台や柱を大工さんの技で修復した後そーっと降ろす。
- 住み良い家に作り替えていく(内装等の工事)作業と続きます。



最近「200年住宅」という言葉を聞くようになりました。長持ちする家は良いと思いますが、200年後を確認できないのですから、どのようにすれば良いのか分からない方も多いでしょう。

では、今から建てる家が200年以上持つのかと言えば“YES”です。それはこの揚屋が証明しています。家を大切に、そしてメンテナンスをしながら住まわれてきたのでしょうか。150年経った現在、設計事務所と工務店が適材適所を旨とした曳屋+改修計画をし、この先さらに50年、100年と住み続けられる家になるようとしています。本当の「200年住宅」は、一度には完成しません。建てる場所の気候風土を知り、適材適所で樹種を選択し、乾燥材を選ぶ。そして良い建築家や工務店さんと出逢い、メンテナンスを重ねて、初めて200年住宅は完成します。

(取材協力：和設計事務所&和田工芸)

よくある木の疑問 天然乾燥材VS人工乾燥材(杉の場合)

	天然乾燥材	人工乾燥材
納期	半年～5年(在庫がある場合はもっと早い)が稀	1週間～1ヶ月
見た目	芯材付近はピンク～朱色、 辺材は白～薄肌色	全体に薄い茶色、 燻煙乾燥材は茶色
価格(※)	人乾代がない分安い。	人乾代が掛かる分高い。
特長	樹脂分が多く残っているため、 時間が経つと良いツヤがでる。	含水率が整っているため、 寸安定性が高い。収縮し難い。
欠点	割れる。収縮する。 (エアコンと相性が良くない)	内部割れが出る材もある。 (すべてではない)

※価格は同じ産地、同じ製材所の場合の比較です。秋田杉は天然乾燥ですが、価格は高めですし、逆に人工乾燥が主流の宮崎杉は価格の安い物が多いという例もあります。

*人工乾燥材は、“細胞が壊れているため、長持ちしない”と言う風評がありますが、定かではありません。過去にそういった試験結果が出たこともありますが、乾燥技術は日進月歩です。良い工場は良い人工乾燥材を出してくれます。もちろん天然乾燥にこだわっている良い工場も多くあります。木童は乾燥方法を突き詰めることよりも、良い乾燥材を作って大工さんに届ける責任感こそが最も大事だと考えています。

*宮崎県の木材利用技術センターの研究レポートによると、初期含水率100%以上の杉梁材(4M×120×240mm程度)を327日間天乾した後の平均含水率は27.9%で、最高値は55.9%であったと言う報告がされています。

★家づくりの現場から ～川崎市H邸 設計：遊空間設計室 施工：渡邊技建

「壁と建具が連続したデザイン」を木童の源平パネルで造っていただきました。見せ場の壁は1F～2Fにあがる階段の途中から2Fにかけての一面です。杉の柾目板がずらりと並ぶ様は、主張はしないけれどインパクトがあるように感じました。



壁だと思ったところから隠れた部屋が現れて、まるで忍者屋敷のよう。友人が遊びにきたら夢中になりそうな仕掛けです。

杉の柾目を表面材にして3層積層した源平パネルは、見た目に上品なだけでなく、内装建具にもおすすめできる安定感があります。しかも質感は無垢材そのものなので、建築家・高野さんのデザインへの要求に応えつつ、工務店さんの施工の手間、寸法変化等の不安要素を抑えるということができたのだと思います。特徴的な赤白の色合いも、時間の経過と共に馴染んだ色に変化していきます。

★勉強がはかどるワタシの机

ショールームに並んだ天板を見て、ふだんはダイニングテーブルのオーダーが多いのですが、この時期には“机”の問い合わせが増えます。木童の家具はほぼ100%天然木材+植物オイルの仕上げなので、「やっぱり無垢の手触りは格別!」「ホンモノを永く使ってもらいたい!」そんな声をよくいただきます。



- 杉の学習机 組み合わせ自在でパーツも多数。
- 価格：14,750円 (左写真参考価格。バラ売り可)
 - ・デスク本体 49,350円
 - ・前棚(引き出し付き) 21,000円
 - ・ワゴン 38,850円
 - ・サイドテーブル 15,750円
 - ・椅子 16,800円



- から松の学習机 昔懐かしい学校家具を思い出す形。
- 価格：机 12,000円
椅子 12,000円



- イタヤカエデの書斎デスク 本物志向の大人も納得の造り。
- 価格：150,000円 (現品限り)

植物オイルで仕上げた家具は、舐めても安心。また、落書きをして汚してしまったり、少し傷を付けてしまったりしても、ご自身での補修が容易です。ダメになったら取り替えるというのではなく、“直しながら大切に扱う”というのは、家具も住宅も同じこと。親から子へ、子から孫へ永く大事に使ってほしいと思います。

木童NEWSラインナップ

- 「木童の家」と呼べる1300万円以下で建てた住宅の見学会を予定しています。詳しくはHP、または直接お問い合わせ下さい。日時は2月中を予定していますが、まだ決まっていません。
- 第59回企画展 2/2(月)～7(土)「木の家大すきの会」NPO法人木の家大すきの会(澤野建築研究所)
- 第60回企画展 2/2(月)～28(土)「宮崎杉PR展(宮崎Weeek連動展)」宮崎県事務所+木童
- 第61回企画展 3/2(月)～7(土)「木の家大すきの会」NPO法人木の家大すきの会
- 木童神戸事務所が長野県と組んで家具と小物の展示会をします。タイトル「木童と信州の家具仲間たち」日時：2/7(土)・8(日)場所：イオン神戸北 3F 詳しくは木童HPまたはスタッフまで。
- ～2/17までOZONE6Fにて国産材の構造体展示ブースに「木童の構造材」を展示しています。第60回企画展とも内容が連動していますので、合わせてご覧下さい。
- 木童のオリジナル建具を考案中。試作品の完成が少々遅れていますが3/中頃には出来上がる予定です。
- 木童通信をHPよりダウンロードできるようになりました。バックナンバーをご希望の方、お問い合わせに宣伝して下さい。ぜひご利用下さい。